

第52号

7月(第3回)臨時会
9月(第3回)定例会
平成29年10月20日発行

町の未来が見えてくる
議会だより
いの



・主な内容

7月臨時会

P 4 給食配送車の取得

P 10 議員の意思表明

9月定例会

P 4 平成28年度歳入歳出決算

P 9 請願・陳情と意見書

P 10 常任委員会・特別委員会の活動報告

P 11 議員の意思表明

P 12 町長の行政報告

P 13 一般質問 (議員13人が町政を問う)

7月31日

平成29年 第3回臨時会

議案1件を審議し、原案通り可決

議案第61号

P4

給食配送車の取得

高知日産プリンス販売(株)が628万6,484円で落札

9月4~14日

平成29年 第3回定例会

議案第62号から89号と発議5件を審議し、原案通り可決

議案第79号に対する修正動議1件、発議1件を否決

注目の議案

平成28年度決算

**このようにお金を使いました！
一般会計歳出総額128億4,100万円**

議案第65号

P4

(特徴的なものを紹介します)



紙の博物館



レンタサイクル



カヌー

紙の博物館売店リニューアル

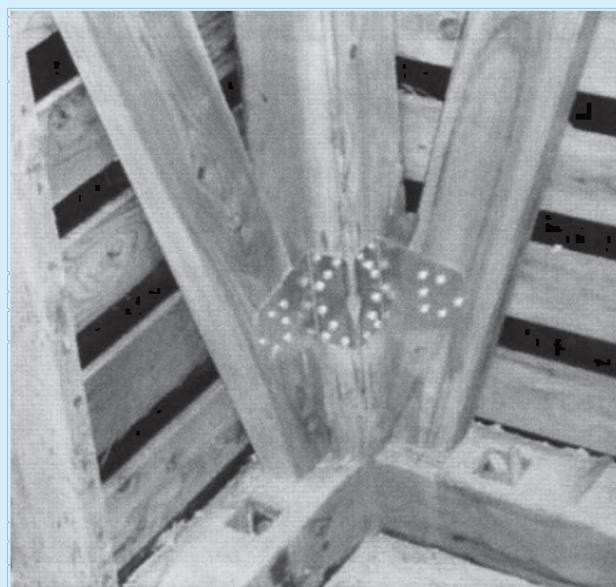
858万円

レンタサイクル整備

96万円

カヌー、サップ、ラフティング整備

266万円



耐震対策促進事業

・診断73件	248万円
・改修25件	2,313万円
・戸別訪問376件	46万円



宇治川流域浸水対策関連事業 1億645万円



高性能林業機械の整備 2,100万円



小中学校施設耐震改修 2億499万円



複合福祉施設ウェルネス伊野耐震補強工事
857万円

平成29年度一般会計補正予算

- 保育料 第2子無料・半額(所得制限あり)、第3子は完全無料に(平成29年12月から)
少子化対策、子育て支援へ 段階的に拡充 1,033万7,500円
- 本庁舎1階の総合案内受付の業務委託(平成29年12月～平成30年3月)
賛成9・反対8で可決 193万3,000円

議案第79号

P5

平成29年度一般会計補正予算に対する修正動議

総合案内受付の委託料193万3,000円を減額する修正

賛成8・反対9で否決

提案者 費用対効果を考え、安価で効率的な他の方法を探るべき

反対者 業者委託による4か月間の結果をもとに、その後の方向を検討

発議第18号

P6

町長の給与を10%カットする条例改正

月額7万8,000円を減額

賛成8・反対9で否決

発議第17号

P7

提案者 保育料無料化等の公約実現へ、町長の意欲が示せる

反対者 公約実現の財源は町長が確保する

**平成28年度下水道事業
特別会計歳入歳出決算
認定の議定**

問 森田議員

下水道会計に一般会計から繰り入れ金2億6700万円の法定内繰り入れと法定外の内訳は。

答 川村上下水道課長

すべて一般財源であり、特定財源は入っていない。

この施策は、子育て支援、少子化対策で町長が公約したものであるが、いの町で子育てしたいと思えるくらいのインパクトがあるか疑問が残る。

所得制限を設けた説明の中で、「段階的に」の言葉があつたが、まだ拡充していく

答 筒井総務課長

基準内2億1856万7000円、基準外4843万3000円。

問 池沢議員

繰入金の財源は。

世代から喜びの声を聞くことができた。この期待をどう受け止めるのか。

また、高知市より進んだ施策にとの声が教育総合会議で出ていたと聞く。高知市は同時入所の場合、すべての第2子が無料となつていて、同時入所だけ見れば第2子はいの町は半額の世帯がある。

この施策は、子育て支援、少子化対策で町長が公約したものであるが、いの町で子育てしたいと思えるくらいのインパクトがあるか疑問が残る。

吾北総合支所耐震改修工事の取り壊し中にアスベス

トが出てきた。このことは仕方ないにしても、他の改修場所はいくつか当初設計時に、盛り込むこともでき

平成29年度一般会計補正予算の議定

問 山崎議員

保育料の無料化・軽減について、子育て支援の一歩として評価する。

しかし、平成29年6月議会の第2子以降無料の答弁が新聞報道もされ、子育て世代から喜びの声を聞くことができた。この期待をどう受け止めるのか。

また、高知市より進んだ施策にとの声が教育総合会議で出ていたと聞く。高知市は同時入所の場合、すべての第2子が無料となつていて、同時入所だけ見れば第2子はいの町は半額の世帯がある。

この施策は、子育て支援、少子化対策で町長が公約したものであるが、いの町で子育てしたいと思えるくらいのインパクトがあるか疑問が残る。

吾北総合支所耐震改修工事の取り壊し中にアスベス

トが出てきた。このことは仕方ないにしても、他の改修場所はいくつか当初設計時に、盛り込むこともでき

く意思があるのか。

たのではないのか。

答 池田町長

教育総合会議で、全部に無料化ではなく、段階的にという意見をいただいた。

高知市は第2子が同時入所で無料となっているが、第1子が卒園すると無料だつた子どもに保育料が発生し、負担感が生じることになる。町の場合は同時入所の制限を外しているので、ずっと半額でいい。

国の施策も子育て支援に對して段階的に進んでいくということなので、後手に回るのではなく、先行して子育て支援を推進していく。そうすることによって、移住・定住の促進が図られる」と考えている。

答 森議員

観光費の需用費の中に、木の香温泉の配管修繕が含まれているが、工事請負費の中取り扱うことはできないのか。

答 天野本川総合支所長

配管修繕料は、漏水箇所を修理し現状の機能回復を図るために急を要したもので、工事請負費は機器の更新・新設である。

総合案内所は、次年度以降も継続の要望が住民から上がっている。補正に組み込んだということは、基本的に平成30年度以降も続ける意向の上で、費用対効果や必要性も含め検証していく。

答 筒井総務課長

当初から設計業者・担当者・各課担当者と検討し、施工中にも協議を重ねているが、途中で判明したアスベスト処理や予想以上の施設の老朽化などもあり、必要な最小限の対応となつた。

答 和田吾北総合支所長

当初から設計業者・担当

この総合案内所は多くの求めに応じて開始しているため、平成30年度も継続していくことを前提に年度末までに十分検討すべきだ。

たのではないのか。

この発言だが、それなら委託料をなぜ計上したか。労務費・研修費などをつぎ込み平成29年度だけで中止するか。

正面の板張り扉の開放や西入口の利用減で、窓口を行つた。また、検証するということは委託の検証であり、費用対効果の上からも住民の方の便宜を図れるかどうか検証していく。

答 池田町長

正面の板張り扉の開放や西入口の利用減で、窓口を行つた。また、検証するということは委託の検証であり、費用対効果の上からも住民の方の便宜を図れるかどうか検証していく。

増やし、入口を入れたから、エレベーターか階段に導くサインでのご案内はどうか。

業務を開始して2年半近くになる。目的のフロアに到着すると、職員の皆さんが今でもしつかりと案内してくれている。

余分な費用をかける必要はない。

スピード感も必要だが、予算が伴う。本当に必要なことは何か。それ何か削るものはないか。内部で十分議論し結論を出した後、実行すべきだと考える。

1階の雰囲気が変わり大きく変身することとなるが、委託業務ともなれば費用もかかるが、予算案通りの委託業務を行い、住民サービスと費用対効果も検証しながら、今後の総合案内業務を検討していくべき。よって修正動議に反対し原案に賛成する。

原案賛成討論

森議員

修正案賛成討論

池沢議員

修正案の提案理由を見ると、総合案内業務に対する修正動議だが、現在、町職員による総合案内業務が行われているが、職員対応では住民の皆さんのための本業務に支障をきたすことにな

る。今までの1階は玄関に入つたとたん真っ暗闇で、ここが役場なのかと言われるよう殺風景だつたが、町職員がいるだけで役場らしい状況となり、光が差し込み始めた。そこから、今一步踏み込み総合案内が専門職による業務ともなれば、

だけだ。そこで役場らしい状況となり、光が差し込み始めた。そこから、今一步踏み込み総合案内が専門職による業務ともなれば、

どうかの議論が町職員や住民の皆さんと共になされたかどうかだ。予算（私たち住民の血税）については、費用対効果を問われる。どのような住民サービスが優先され、必要とされているか、来

れる声もくみ取るべきだ。真に住民（2万3000人）に寄り添う町政となることを心から願い発議した。

平成29年度介護保険特別会計補正予算の議定

（議案第81号）

問 山岡議員

新しい総合事業関連の507万円の補正は、10月からの完全移行に向けて、サービ

審議し発議した。決して軽々しく行つてない。町長には、このことを重く受け止めもらいたい。

私たち8人以外の議員にもこの修正案を理解してもらいたい。

総合案内を置くべきか

くことに対応するものか。また、通所型サービス相当分400万円、訪問型サービス相当分100万円には多様なサービスは含まれていないか。

答 濵谷ほけん福祉課長

要支援1・2の方が、順調に新しい総合事業に移行しているものと考えている。

そして、この通所型・訪問型サービスには多様なサービスは含まれていない。

議員発議議案 (議案第17号)

町長の給与を10%カットする条例改正

提出者 筒井 一水

賛成者 市川 賢仁
賛成者 森本 節子

賛成者 池沢のりこ
賛成者 浜田 孝男

賛成者 藤崎 憲裕
賛成者 土居 豊榮

賛成者 筒井 公二

ス利用者が順次確定していくことに対応するものか。

本議案は、町財政の健全化を図る中で、池田町長が公約を実現するためには財源の確保が求められている。かつて町長が公約に掲げた町長給料10%カットを提案するもの。

答 濵谷ほけん福祉課長

問 岡田議員

提案理由に「町長が公約を実現するため」とある。5年前の落選時の公約が有効であることでの提案か。

答 筒井(一)議員

そうではない。今議場で「財源確保に給与10%カットも考えていく」と言つたから提案した。

問 井上(敏)議員

平成24年の後援会活動の中で報酬の10%カットを公約としたが、選挙民の支持を得られず、公約は消滅している。提出者は、他の議員の質問で町長が「考えていく」との発言を基に発議

を提出。意味不明で発議するのはいかがか。

答 筒井(一)議員

前回の公約は生きているとは言つてない。ただ、町長の「考えていく」との発言は、保育料の無料化かどうか、何を意味するか分からぬが、この発言があつたから提出した。

問 井上(敏)議員

財政の健全化を図るために出するなら、議員もカットすべきとの話をしたのか。

答 筒井(一)議員

議員カットの話はない。町長が、住民に対して報酬カットを示せば、公約実現のために努力していると意欲を感じられるのではないかとの思いで提出した。

問 井上(敏)議員

前回10%カットは認めら

れていない。今回カットしても意欲を見せたとの判断にならないではないか。

答 筒井(一)議員

町長発言の中に、カットの意があると考え提出した。これが本財源になると考へはない。

問 森議員

町長は答弁で、「10%カットは考へている」とのことから、条例の一部を改

正する発議を提出したとのことだが、町長は一人で決めることはできないので、市議とか審議会などの意見を聞きながらの「10%は考へていきたい」との答弁だつたと思うが理解できないものか。

問 山崎議員

今までの答弁から、住民に対して町長のやる気を見せるための給料カットといふように取れる。保育料の無料化は歓迎できるが、それが町長の給料カットで賄うということが、本当に住民が望んでいることなのか疑問が残るが、どう考えるか。

答 筒井(一)議員

条例に基づいて町長の給料は決まるものと考えている。予算(案)に保育料無料化・総合案内や陳情書の医療費を無償にするとし、

光ケーブル通信など、今後いろいろな予算を伴うものが上がってくる。町長の給料を10%カットしたから賄えるとは思つてもいいが、仮に5%でも町民に対して町長は給料をカットしたこというのであれば理解も得られるのではないか。これまでの町長答弁の中では「10%カットは考へている」という答弁をしていたら、このような条例の一部を改正する条例は提出しなかつた。

は全然思つていない。5年前の町長の公約に「給料10%カットで117万円の財源が生まれる」というのがあって、町長としての意欲が見せられるのではないか。10%が5%でも意欲を見せらるという話もした。これで保育料無料などの財源を賄うのは絶対無理。

は全然思つていない。5年前の町長の公約に「給料10%カットで117万円の財源が生まれる」というのがあって、町長としての意欲が見せられるのではないか。10%が5%でも意欲を見せらるという話もした。これで保育料無料などの財源を賄うのは絶対無理。

町長の給料カットといふなら、他の特別職、議員などの給与が適當かどうか、「特別職俸給等審議会」に答申すべきである。

反対討論
森田議員

いの町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案に、反対の立場で討論する。質疑により、提案理由の「池田町長が公約を実現するため財源確保が求められており、かつて池田町長が公約に掲げた町長給与10%カットをする」ということは、あてはまらないことが判明した。

賛成討論
市川議員

今議会において、議案第79号平成29年度いの町一般会計補正予算(第2号)議案が提出され、その中には、町長の公約であつた子育て支援、総合案内所などの予算が計上されている。

一般質問では「内部で十分な論議はできているのか」「財源を確保してから実施とすべきですか」との質問も多くあつた。

今回の補正では前年度

県内の他の市町村より無料化が大変遅れた。

政策実現のための財源を確保するのは町長の役目で、何に財源を求めるか、町長の手腕にかかる

ている。

町長の給料カットといふなら、他の特別職、議員などの給与が適當かどうか、「特別職俸給等審議会」に答申すべきである。

の不用額が充当されてい
るが、同僚議員からの
「5年前の町長公約に

あつた、町長の給与10%
削減の考えは」との一般
質問に対し、「今一度考
える」との答弁であつた。

30年度当初予算か、31
年度当初予算なか分か
らなかつたが、今できる
スクラップとしては、公
約を予算化した、今議会
が一番良いとの思いか
ら、本発議に賛成する。

割合の特例の継続等に關 する意見書

(発議第16号)

□農業に使用する軽油取引 税の免稅を求める意見書

(発議第15号)

□農業者戸別所得補償制度 の復活を求める意見書

提出者 山崎 きよ
賛成者 井上 正臣

【提案理由】(原文)

米価が生産費を大きく下
回る水準に下落し、多くの
稲作農家が「作り続けられ
ない」という状況が生まれ
ている。

平成22年に始まつた「農
業者戸別所得補償制度」は、
米の生産数量目標を達成し
た販売農家に対して、生産
に要する費用と販売価格と
の差額を基本に交付する
「直接支払い」が行われる
もので、多くの稲作農家を
支えていた。これが平成26
年産から半額となり、30年
産から廃止されようとして
いる。経営を下支えする政
策を確立するためにもこの
制度を復活させることを求
める。

(発議第12号)

□「全国森林環境税」の創 設に関する意見書

(発議第13号)

□地方財政の充実・強化を 求める意見書

(発議第14号)

□「道路整備事業に係る国 の財政上の特別措置に關 する法律」第2条に規定 する国の負担又は補助の

(発議第16号)

提出者 井上 正臣
賛成者 井上 敏雄

【提案理由】(原文)

日本の農業は高齢化が進
む一方で後継者や農業就労
者の減少といった問題を抱
えているが、その主たる理
由として国際的競争のなか
生産コスト増や市場で安定
した収入の確保が見通せな
いことが考えられている。

農業という重要産業を育
てるためにも農業の機械
化・コスト削減が必要であ
ることから農業用の機械な
どに使用する軽油の免稅措
置を引き続き継続すること
を目指す必要がある。

議会日誌

7月5日(水)	広報特別委員会
10日(月)	公共施設等調査特別委員会
12日(水)	仁淀川広域市町村圏事務組合議会第 1回臨時会
13日(木)	仁淀病院運営特別委員会
⑦	広報特別委員会
18日(火)	総務文教常任委員会
19日(水)	広報特別委員会
20日(木)	全国森林環境税創設促進議員連盟第 24回定期総会(高知市)
⑦	平成29年度市町村議会議員研修(高知市)
27日(木)	議会運営委員会
28日(金)	吾川郡町村議会議長会(仁淀川町)
31日(月)	平成29年第3回臨時会
⑦	議員協議会
⑦	公共施設等調査特別委員会
⑦	高知西バイパス整備促進対策特別委員会
8月4日(金)	四国土砂防災ネットワーク議員連盟 第17回定期総会(高知市)
9日(水)	公共施設等調査特別委員会町内現地 視察(いの町内)

8月17日(木)	仁淀川下流衛生事務組合議会第2回 定期会
⑦	高知中央西部焼却処理事務組合第2 回定期会
⑦	香南市議会視察來庁
18日(金)	建設産経常任委員会町内現地視察 (いの町内)
21日(月)	民生環境常任委員会
⑦	総務文教常任委員会
⑦	町村議會議長研修会並びに県政に對 する意見交換会(高知市)
24日(木)	女性活躍推進に関する意見交換会
25日(金)	仁淀消防組合議会第1回臨時会
⑦	土佐・長岡・吾川郡町村議会全議員研 修会
31日(木)	議会運営委員会
9月4日(月)~14日(木)	平成29年第3回定期会
26日(火)	四国四県町村長・議長大会(高知市)
29日(金)	町村議会広報研修会(東京)

常任委員会・特別委員会の活動報告

仁淀病院運営特別委員会

□ 7月13日

仁淀病院の現状報告として、担当から説明を受ける。

平成28年度の決算の概要、対前年度比入院患者306人の減、外来患者164人の増で、純損失1億9797万5千円となる。

また、今後の運営について、5月から地域包括ケア病床の稼働や、今後4年間の改革プランの説明を受けた後、質疑応答を行うなど事務調査、学習の機会となつた。

建設産経常任委員会

□ 8月18日

議題

1 中心市街地の活性化について
2 林内路網の整備促進につ

3 宇治川浸水対策事業の進捗について
4 国関係事業について
(高知西バイパス、北山歩道、波川交差点)

5 県関係事業について
(高知南環状線事業、土佐伊野線改良事業)

6 町関係事業について
(区画街路4号線、菊楽学校線、諸枝是友線、小鎌田幹線、鎌田排水機場、橋梁点検・修繕)戸中線の戸中橋、都市計画)いの町公共水道の変更ほか)



戸中橋現地視察

7 いの町立伊野公民館耐震工事について
それぞれの担当課から説明を受け、旧勝賀瀬小学校跡に計画中の日吉学園の近況、こども食堂の報告などに質疑応答を行つた。



戸中橋現地視察

総務文教常任委員会

□ 8月21日

議題

1 いの町第2次振興計画実施計画(第3号)について

2 吾北総合支所耐震補強・改修工事について

3 本川総合支所耐震工事に伴う事務所移転について

4 分収造林契約に係る造林木売り払いについて

5 保育料第2子無料化について

6 認定こども園移行に係る検討について

○ 今後は、10月ごろから町内の学校視察を計画している。

△ いの町立伊野公民館耐震工事について
それぞれの担当課から説明を受け、旧勝賀瀬小学校跡に計画中の日吉学園の近況、こども食堂の報告などに質疑応答を行つた。

民生環境常任委員会

□ 8月21日

議題

1 いの町水道事業経営戦略について

2 天王地区汚水処理施設の統合計画について

3 それぞれの担当課から説明を受けたのち、今後のスケジュールなどについて意見交換を行つた。

4 次期開催日は10月を予定

5 いて

6 認定こども園移行に係る検討について

平成29年第3回臨時会(7月)で議決された議案などの賛否一覧表

○:賛成

●:反対

欠:欠席

棄:棄権

△:議長

	伊東 ひさたけ	久武 啓士	井上 敏雄	井上 正臣	藤崎 憲裕	土居 豊榮	市川 のりこ	森 みきお	森田 ちづこ	岡田 りょうへい	山崎 きよ	山岡 勉	筒井 公二	浜田 孝男	森本 せつこ	高橋 幸十郎	可否
議案第61号 財産の取得に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

平成29年 第3回定例会(9月)で議決された 議案などの賛否一覧表

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 壱：棄権 △：議長

	伊東 ひさたけ	久武 啓士	井上 敏雄	井上 正臣	藤崎 憲裕	土居 豊榮	池沢 のりこ	市川 けんじ	森 みきお	森田 ちづこ	岡田 りょうへい	山崎 きよ	山岡 勉	筒井 公二	浜田 孝男	森本 せつこ	筒井 一水	高橋 幸十郎	可否
議案第62号	いの町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第63号	いの町営住宅条例の一部を改正する条例議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第64号	いの町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第65号	平成28年度いの町一般会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第66号	平成28年度いの町水資源対策特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第67号	平成28年度いの町墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第68号	平成28年度いの町国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第69号	平成28年度いの町国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第70号	平成28年度いの町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第71号	平成28年度いの町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第72号	平成28年度いの町特別養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第73号	平成28年度いの町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第74号	平成28年度いの町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第75号	平成28年度いの町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第76号	平成28年度いの町天王地区汚水処理施設事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第77号	平成28年度いの町水道事業会計決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第78号	平成28年度いの町病院事業会計決算の認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第79号	平成29年度いの町一般会計補正予算(第2号)議定に関する議案	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	可
発議第18号	一般会計補正予算(第2号)議定に関する議案に対する修正動議	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	△	否
議案第80号	平成29年度いの町国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算(第1号)議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第81号	平成29年度いの町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第82号	平成29年度いの町水道事業会計補正予算(第1号)議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第83号	平成29年度いの町病院事業会計補正予算(第1号)議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第84号	平成29年度伊野公民館耐震補強及び改修工事（建築主体）の請負契約の締結に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第85号	平成29年度伊野公民館耐震補強及び改修工事（機械設備）の請負契約の締結に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第86号	財産取得に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第87号	町道の路線廃止に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第88号	町道の路線認定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
議案第89号	教育委員会委員の任命に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
発議第17号	いの町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	△	否
発議第12号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
発議第13号	地方財政の充実・強化を求める議案書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
発議第14号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条に規定する国の負担又は補助の割合の特例の継続等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可
発議第15号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	可
発議第16号	農業に使用する軽油取引税の免税を求める意見書	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	可

町長の行政報告



池田町長

平成28年度一般会計 決算の特徴

歳入総額は132億4100万円で、歳出総額は128億4100万円で、繰り越すべき財源を差し引いた2億9812万9000円の黒字となつた。財政指標は、経常収支比率が91.9%、実質公債費比率は8.4%となつた。

国保制度改革に向けた県との協議状況

主な施策は、南海トラフ地震対策関連として耐震改修事業や、耐震診断及び耐震改修への補助金など防災関連では、菊池学園による取り組みや結婚・妊娠・出産・子育てへの支援の推進をするとともに、雇用創出

に向けた取り組みや移住促進も進めた。また、集落活動センターの施設整備など中山間地域の活性化を図る取り組みも進んでいる。

第2子以降保育料・幼稚園授業料無料化へ

第2子は、現行制度で半額の世帯は無料に、それ以外の世帯は半額負担にする（同時入所ですべてに半額の世帯は、半額のまま）。第3子以降は、現行制度で3歳未満まで無料のところを就学前まで無料にする。

平成29年12月からの実施を考えている。

認定こども園について

「幼保連携型認定こども園」を枝川・吾北の各幼稚園及び保育所で検討を考えている。認定こども園は、幼稚園及び保育所の機能を併せ持ち、年齢によっては保護者の就労の有無にかかわらず同一施設に在籍可能となることから、保護者の多様なニーズに対応する。

超高速ブロードバンド未整備地域について

現在、町職員による検討会を立ち上げている。運用開始には、地域住民の皆さんに一定数加入（月額数千円）してもらうこと、億単位の整備費用への財源確保や、赤字の場合の補填に伴

する3方式に決定し、国保事業費納付金の市町村への配分方法についても3方式となった。

伊野浄水苑と天王地区汚水処理施設の統合計画

天王地区汚水処理施設が公共下水道に編入することにより、施設の改築費用を国庫補助対象にできることなど、改築費用の大幅な縮減が図られる。また、災害時には県内他市町村や各種機関から、支援を受けることが可能となる。

石鎚山系連携事業などの山岳観光について

「山莊しらさ」について

は、早期のリニューアルオープンに向け、山岳観光の拠点として施設改修に向けた検討会を行っている。

前町長に対する損害賠償請求について

前町長に損害賠償を求める住民訴訟に対する高松高等裁判所の平成29年3月16日判決に対し、町及び補助参加人である前町長が平成29年3月28日付で上告受理申し立てを行い、平成29年8月30日付で最高裁判所より不受理の決定がなされた。これを受け、町として前町長個人に対し損害賠償請求手続きを進めていく。

町道戸中線戸中橋について

橋梁の上部工と下部工に設置してある支承の破損は、右岸側の地滑りが原因と考えられるため、平成29年6月から平成30年1月まで右岸側の地質調査により原因を特定し、平成30年度に詳細設計業務を、平成31年度に補修対策工事の実施を予定している。

がある。

こども食堂について

当町においては、平成29年8月に食生活改善推進員を中心とした有志が企画した「みんな笑顔（スマイル）こども食堂」が開催され、9月からは月1回土曜日に開催予定と聞いている。町としては、「高知家子ども食堂登録制度」への申請、補助金申請のサポートをしている。

さうなる子育て支援対策の充実を目指せ 追手前高校吾北分校存続対策を早急に



池田町長

①町の合計特殊出生率は平成25年38.1%、平成26年37.1%、平成27年27.1%と年々低下している。

②我が町の出生率が、この

ようく低い状況に愕然としており、心して子育て支援の充実を目指していく。

井上

敏雄
議員

①出生率の地域間格差は、将来の地域経済の発展力格差につながる。人口維持に必要な合計特殊出生率は2.07以上。現在、国の希望出生率1.8%。高知県前年度1.47%。いの町の出生率を問う。

②政府の骨太方針は、児童教育と保育の無償化を早期に実現の方針である。

町も、そのため平成29年12月から第2子以降の無料化実施と踏み込んだが、若者世代はさらなる子育て支援を望んでいる。町は今何が一番重要か判断すべきだ。

早急な吾北分校の存続対策を

井上議員

吾北分校は今、存続の危機に直面している。高校が1校しかない島根県海士町は、教育寮を建築し、学力の格差解消を目指した、夢ゼミ、キャリア教育や補習授業などを講じて、全国や海外からも留学生を募集している。

平成28年度は島外から28人も入学している。町も参考にすべきではないか。

池田町長

世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て家庭への訪問や医療との連携など、総合的にコーディネートすることで、今以上に切れ目なく個々の家庭に寄り添つた、きめ細かな支援ができるよう準備を進めている。

また、安心して出産し、子育てと仕事が両立できるよう、地域全体で子育て家庭を支えることができる環境整備の一つとして、ファミリーサポートセンター事業の実施も検討している。

町は、ホームページの作成ができる技術取得や通学補助の増額支援拡充も行つ

ている。寄宿舎は課題も多くの町営住宅を勧めている。

こうした状況のもと「カリキュラム編成や学科の新設・アスリートを育成する部活動の設置」など特色ある学校づくりのために、大変参考になる海士町の取り組みも含め、教育委員会・職員と共に英知を結集して

分校存続の協議を行う。職員と共に英知を結集して企画研修」も行っている。これらを活用しながら人材育成を図っていく。

職員研修実施を

井上議員

次代を担う職員を部門別に先進自治体に派遣して研修させ、そのノウハウを取得し、霸王溢れる町行政とするべきでないか。

池田町長

吾北分校存続に向け、開かれた学校づくり推進委員会や活力ある吾北分校をつくる会と、各機関が連携し何回か協議を重ねている。

地区外から生徒を呼び込むための魅力ある学校づくりや、交通の利便性、寄宿舎の建築などの意見がある。

先進地自治体での研修は、行政課題への取り組み姿勢や解決方法の工夫・ノウハウなど、必要な知識の習得及び技術・能力の向上を図るために、積極的に学び経験してほしい。

各部門から先進自治体へ策に一部条例改正を行った際に豪雨災害防止に流木・竹林・広葉樹対策を行つ

に研修の機会を設けていく。

また、こうち人づくり広域連合では、様々な分野で先進的な取り組みをしている自治体職員を講師として招聘する「先進地に学ぶ未

来創造研修」や、職員自らが企画立案した国内・海外での研修を支援する「自主企画研修」も行っている。これらを活用しながら人材育成を図っていく。

その他の質問

・吾北・本川両地区での貨物混載サービスの実施で地域活性化と移住促進を得し、霸王溢れる町行政とするべきでないか。

池田町長

地域活性化と移住促進を目標とした、自主財源増を図り、ふるさと納税対策を

・地域おこし協力隊員増で地域活性化を目指せ

・空き家の有効活用は

・特定空き家対策と略式代執行対策は

・宇治川操作規定の公開を

・公共工事発注者の社会保険未加入対策は

・首長損害賠償事件防止対策に一部条例改正を行つた際に豪雨災害防止に流木・竹林・広葉樹対策を行つた際に豪雨災害防止に流木・竹

まずは、財源を確保すべき予算あつての公約実現だ



池田町長

第2子以降の保育料・幼稚園授業料の無料化について、補正予算（1033万7500円、4か月分）は、平成28年度決算からの繰越分（余剰金）の中からとの答弁だ。

平成30年度当初予算からは、毎年試算で3101万2500円必要となるとのこと。町長は、「その財源として基金（町の貯金）を充てない。町の継続事業は行う。町単独事業や普通建設事業は減らさない」と答弁した。

町全体の事業を見直し、スクラップしない限りビル（公約実現）は、不可能ではないか。

機構改革しないのか

は、今は一般財源を使用することを考えている。予算計上額の精査に努め、事業の必要性や執行の効率性などの観点からの見直しや事業量の平準化を図り、平成30年度以降の一般財源を確保する。

池田町長

住民サービスを行うための町行政の機構改革は、社会情勢による行政需要、町政課題への対応、将来の町民福祉を目指した取り組みなど広範多岐な視点で行政分析を行い、検討すべきだ。財政運営上、非常に重要な取り組みだ。今回の機構改革で何を主眼としたのか。一番多くの時間をかけている課題は、何か。今後、どのようにしていくのか。

池沢議員

の町行政の機構改革は、社会情勢による行政需要、町政課題への対応、将来の町民福祉を目指した取り組みなど広範多岐な視点で行政分析を行い、検討すべきだ。財政運営上、非常に重要な取り組みだ。今回の機構改革で何を主眼としたのか。一番多くの時間をかけている課題は、何か。今後、どのようにしていくのか。

池田町長の政治姿勢

は、ヒアリングでも設置要望があるが、様々な提案を各課から受けて いる。

今後、関係各課で協議を
したり、全序的な調整をし
た上で、議会へ示したい。

町政懇談会の

あるべき姿は

池沢議員

○ 地区の未来を考える会」と名称を変えたが、池田町子後援会ミニ集会となつてないか。町全体の年間計画を先に立て実行すべきでないか。また、参加職員の範囲を拡大すべきでないか。

町職員を3地区（本川
吾北・伊野）に分散参加させ孤立化させるのでなく、情報共有ができるようにならうか。町長は、言つていいこととしていることが、まだ、ちぐはぐしているところがあるのでないか。

池田町長

る職員や2万3000人の町民も納得しないのではないか。

た。その私の公約だから何が何でもやるという態度

開かれた行政を目指すべきでないか。

でないか

町政懇談会について、5月区長連合会で実施、町主催で「本川地区の未来を考える会」として8月に越裏開催。

今後、地区からの要請で
9月中に横敷で開催。10月
に中追地区、波川地区。
「本川地区の未来を考える
会」を脇ノ山、桑瀬、長沢
で9～10月開催予定。10～
11月に、「吾北地区の未来
を考える会」として、清水、
上八川、小川、下八川で開
催を計画。伊野地区でも計
画していきたい。

「未来を考える会」開催予
定などは、議会にも案内す
るが、地区主催の懇談会に
ついては、地区とも相談し
て案内する。平成30年度は、
全体計画を立てていきた
い。

===== その他の質問 =====

②損害賠償請求について

|| その他の質問

- ② 損害賠償請求について

す

① 長期健全財政運営をただ

仁淀病院の経営改善は 答弁 II 地域包括ケア病床の導入



森田 ちづこ 議員

町立の病院としての使命、また、どのような役割を果たしているのか。

平成28年度も赤字経営であるが、経営改善の取り組みを問う。

池田事務長補佐

地域の中核的病院として、総合的一般医療、高度・特殊医療などを行つており、行政機関、医療機関、介護施設などと連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の健康を守り、地域の健全な発展に貢献することである。

仁淀病院では、外来に来られた患者さんには、本人、ご家族の意向を尊重し、急性期の一般病棟への入院から、慢性期となつたときの介護療養病床への移行や、偕楽荘、清流苑への入所、あるいは自宅への訪問看護、在宅医療など、患者さんやご家族の意向に沿つた医療・介護サービスの提供が行える体制を整え、維持していくしかなければならない。

【仁淀病院】	
・一般病床	52床(10:1)
・地域包括ケア病床	8床
・介護療養病床	40床
【訪問看護ステーション】	
・看護師	3名
・理学療法士	2名
H28年度実績	訪問件数 3,848件
【地域連携室】	
H28年度実績 紹介患者数	
・仁淀病院 → 他病院	537件
・他病院 → 仁淀病院	988件



益の改善を図ったが、やはり経営改善には、常勤医師の確保が一番であり、現在常勤医師8人のうち、1人は放射線科医師で実質7人で、入院患者や、吾北診療所での診察、当直での救急医療を行つており、過酷な労働となつていて。医療再生機構や高知大学の常勤医師の派遣要望を行つている。

伊野図書館は貸出冊数も6万9226冊と多く、館内は職員の創意工夫により、利用しやすく、雰囲気も良い。新刊図書がいつも貸し出し中で、予約件数が2845件と多い。資料費と購入冊数を

問う。

また、地区民誰もが気軽に立ち寄れる図書館を天王地区にできないか。

森田議員

**図書館の資料費と
多目的ホールの活用は
天王地区に図書館を**

山崎教育次長

平成28年度の資料費は、371万円で、人口一人当たり165円、県内の図書設置23市町村のうち16番目である。新刊図書をもっと多くと

のことであるが、限られた予算であり、新刊図書は、貸出期間を短くするなど、工夫をしている。

2階多目的ホールは研修会や講演会、町民の生涯学習の場として活用している。

天王地区への図書館設置は、地域住民の要望に耳を傾け、慎重に検討していくべきと考えている。



すべて貸出中の新刊図書

その他質問

- ・年度決算の不用額と繰越額
- ・基金と地方債について地域振興基金の使途は
- ・経常収支比率について

不法投棄をした者
5年以下の懲役と1000万円以下の罰金
(法人の場合 3億円以下の罰金)

課をあげて相談に対応する。

他県での地域おこし協力隊であつた方が有料で地域の不法投棄回収のお手伝いをする孫プロジェクトを立ち上げた実績もあり参考にしたい。



池田町長

カメラ設置場所周辺の住民のプライバシー配慮の観点から、これまで検討してこなかつたが、有効な手段であり、看板設置と共に検討していく。地元の協力も仰ぎながら、県、警察とも連携して巡回にも力を入れ

久武議員 第2子保育料無料化に向けての財源にふるさと納税を充ててはどうか。ふるさと納税を増やす努力をしてはどうか。



池田町長

紙の博物館では近代和紙産業の原型を作つたいの町の恩人、吉井源太翁を公認キャラクター「源太さん」として活用している。

不法投棄防止に町・地区住民と共に取り組んでいる

が、一向になくならない現実がある。モデル地区を設定して監視カメラの設置を検討してはどうか。

同時に【監視カメラ作動中】の看板を設置することにより、抑止効果にも期待できるのではないか。

家電品のリサイクル業者を町で斡旋するなど、不法な悪徳業者にリサイクル品が渡らないようにすることで不法投棄の抑制につながるのではないか。



山林に不法投棄された家電

家電4品目については、販売店がリサイクルするところが義務付けられている。無許可の業者にリサイクル商品が渡らないよう、ホームページや町広報誌でのリサイクル方法の案内、また各

池田町長
ふるさと納税のうち、子どもたちを守り育てる事業に充てられた金額は全体の31% 4000万円超であつた。これまで以上に町を売り出していく。

久武議員 町の売り出しに、キャラクターの着ぐみの制作をしてはどうか。

ユーチューブについては、有効な宣伝手段であり情報発信を庁内で共有していく。府内に発想豊かな職員もいる。見てもらえる動画の作成に向け、商工会・観光協会とも協力して、町のふるさと納税増収、町のPRに努めていく。

やりすぎくらいが、ちょうどいい！ Thank湯～V

<https://www.youtube.com>

m/watch?v=UbMnhQYo
AsM

防災・減災対策で避難所のトイレは 幼児教育の無償化は こども食堂の取り組みは



筒井総務課長

地域での防災活動については自主防災組織を中心に行っている。また、小学校でも避難訓練、起震車体験も含め取り組んでいる。

災害については、まず自分と家族の安全の確保、地域で協力し合うことが基本になる。自分の住んでいるところでどんな災害が起こり、どういった行動をとることが正しいのか。一人ひとりが考えて正しい知識を持ち、備えておくことが重要で、進んだ取り組みをしている自治体を参考に防災対策に活かしたい。

佐川町では家族で防災意識を高めようと毎月第2曜日を「さかわ家族防災会議の日」に設定するとともに、独自に作成した防災チエックシートを配布している。地域の防災力向上のために町でも取り組んではどうか。

災害時、電力の確保の備え・飲料水・備蓄倉庫・通信手段の確保と共に避難所のトイレはどうなっているか。特に女性の場合、配慮が必要ではないか。

また、重点推進地区の「感震ブレーカー」の配布を取り付けは。

設トイレの購入についても検討したい。

感震ブレーカーについては現在、県に補助を申請している。設置については、県補助対象ではない。感震

ブレーカー入荷後、地区で説明会を開いて、自分で設置できる世帯についてはお願いし、設置が難しい世帯については、自主防災組織を中心に依頼してまいりました。

保育所・幼稚園の給食費については

森本議員

大阪府守口市は子育て世代の定住を促そうと平成29年4月、0歳から5歳児の幼児教育無償化を始めた。

完全無償化は珍しく「先進的な取り組み」として注目を集めている。所得制限はなし。認定こども園、保育所、幼稚園、小規模保育事業所などに通う4600人が対象で他の自治体の施設利用する場合も無償。給食費は自己負担で認可外施設は対象外としている。町では保育

所・幼稚園の給食費はどうなっているか。未来を担う人材への投資を前に進めるため幼児教育の無償化は必要と思われるが。

池田町長

国における保育料の考え方として給食材料費相当額（0歳～2歳児は主食及び副食費、3歳児以上は副食費）が含まれている。幼稚園については授業料に給食費は含まれていない。給食を実施している幼稚園と実施していない幼稚園がある。

今回は保育料の無料化の検討だったので、切り離して給食費のみを徴収するといった議論に至っていない。

町内の「こども食堂」は

森本議員

8月に伊野公民館で「こども食堂」が開催された。今後の取り組みは。

池田町長

「こども食堂」は子どもの貧困対策としての「食」の保障だけでなく、地域にお



ける「子どもの居場所」の確保、大人も含めた地域における交流を目的としており「すべての子どもの育ちを地域社会全体で支える」という意味で、有意義な取り組みの一つだと認識している。町としては運営主体が地域の団体なので、寄り添いながらサポート的な立場で、広報、町のホームページを活用した周知や、スタッフの募集など支援の輪を広げていきたい。

光通信整備の進捗工程を示せ

答弁II 時期は明言できないが検討する



ないことは、十分承知しているので、時期は明言できないが、地域振興策の中で検討していく。7月から、民間業者や高知県情報政策課、近隣市町村より情報を収集しているところだ。県との協議は行っているので、今後も引き続き行っていく。

吾北・本川地区への整備費はどれくらいと試算されたのか。全域への整備はいつ完成するのか。県などとの協議はされているのか。

また、吾北・本川地区住民より、整備の要望書が提出されたが、どのように受け止めたのか。



池田町長

民間業者の話では、整備費は数億から数十億円が必要と聞いた。また、国・県の補助、交付税措置のある起債を使うと、町の負担は

情報格差があつてはいけない。

9月補正予算に、12月から平成30年3月までの本庁舎総合案内委託業務費193万円が計上されている。1年間では約600万円となるが、費用対効果をどう考えるか。また、直営での臨時職員雇用の場合は、検討したのか。検討したのであれば、試算はいくらとなつたか。費用は最小限で、本来の目的である来庁者をスマーズに、目的箇所に誘導できる方法を考えるべきではないか。

平成28年12月議会の所信表明で、吾北・本川地区の農産品を、トップセールとして売り込んでいくと言われていたが、どのように実行されているのか。

平成28年12月議会の所信表明で、吾北・本川地区の農産品を、トップセールとして売り込んでいくと言わられていたが、どのように実行されただけでなく、農産物の販売促進や、地域活性化のためのPRを行った。

今後の予定は、9月に香川県人会への参加、11月には関東県人会への参加、また10月には兵庫県での全国女性町長サミットがあるので、種々の機会をとらえてPRしていく。

吾北・本川の農産品については、ふるさと納税の返礼品としても活用している。

公約の実行状況はどうえてPRしている

答弁II 機会をどうえてPRしている

筒井議員

9月補正予算に、12月から平成30年3月までの本庁舎総合案内委託業務費193万円が計上されている。1

年間では約600万円となるが、費用対効果をどう考えるか。また、直営での臨時職員雇用の場合は、検討したのか。検討したのであれば、試算はいくらとなつたか。費用は最小限で、本来の目的である来庁者をスマーズに、目的箇所に誘導できる方法を考えるべきではないか。

平成28年12月議会の所信表明で、吾北・本川地区の農産品を、トップセールとして売り込んでいくと言わられていたが、どのように実行されただけでなく、農産物の販売促進や、地域活性化のためのPRを行った。

今後の予定は、9月に香川県人会への参加、11月には関東県人会への参加、また10月には兵庫県での全国女性町長サミットがあるので、種々の機会をとらえてPRしていく。

吾北・本川の農産品については、ふるさと納税の返礼品としても活用している。

災害対策は

筒井議員

緊急時における、ヘリ着陸可能地拡大のための調査をすべきでないか。

また、人家後方の浮石対策は、早急にすべきではないか。現在、上八川寺野地区において、新たなヘリポート設置に向けて、用地の確保や工法について地権者や航空隊と協議を行っている。着陸可能な場所が近くにならぬ地域については、自主防災組織や、地域の皆さんに協力いただき候補地の確保に努めている。

門脇吾北総合支所次長

山腹斜面の施工規模の大きいものは、県営の民有林治山事業で採択されるよう要望している。小規模なものは、県単補助による山地災害防止事業で要望している。今後は、予防的な対策を含めて県の担当課と相談しながら早急に行えるよう努めていく。

かけがえのない子どもたちに

特別支援教育の充実を

◇大内運動広場に水洗トイレを
南国伊野線・県道の改修は急務

を重ね様々な取り組みが行

われているが、授業において
情報通信技術（ICT）を利

用した視覚・聴覚からの教育
を取り入れることも効果的
な授業と期待されている。

教育委員会として、教育
現場では児童や保護者の教
育的ニーズにどのように取
り組まれているのか。



井上 正臣 議員

特別支援教育に さらなる努力を

特別な配慮のもとに、児童の状況に応じて適切な教育環境を整え教育を行い、その能力を最大限伸ばす教育の場として特別支援学級がある。

特別支援学級を観察した

とき改めてこの学級の環境整備に教職員一体となり力を注ぐべきと感じた。

かけがえのない一人ひとりの子どもたちに教育委員会として、特別支援学級での授業の充実に向けて研究

性を理解し、生き生きと楽しい学校生活が送られるよう今後も教育委員会として努めたい。

性を理解し、生き生きと楽しい学校生活が送られるよう今後も教育委員会として努めたい。

大内運動広場 トイレを水洗に

井上議員

施設内には、トイレと倉庫併用の付属建物がある。

特に、トイレは旧態依然で水洗トイレになじんでいる住民にとっては使い勝手が悪い。

また、倉庫を更衣室として使えるように改修すれば利用者の利便性は良くなる。水洗トイレや更衣室としても使えるように改修する予定はないか。



大内運動広場

川崎産業経済課長

この施設は、川内地区の農業者の健康維持と地区住民との交流の場を目的として整備されたもので現在産業経済課が管理している。

トイレの水洗となると淨化槽の設置が必要な地域な

と考えている。

道路幅は狭く利用者にとっては大変危険である。

事故の防止と歩行者の安全対策として早急な道路の改修を求める。



水田土木課長

県道33号（南国伊野線）は、横・横藪地区住民の重要な生活道である一方、町内外の多くの方々が加茂山への登山道として利用して

おり、安全対策への必要性から危険箇所や幅員狭小箇所の改修を県に対し行っているところだ。

現在、内野地区から横橋までの区間の素掘り水路を

蓋付き水路に改修しているが、今後も歩行者の安全、事故防止対策が図られるよう県にもなお一層の改修を要望していく。

横地区の改修を急げ

井上議員

県道33号は、横・横藪に暮らす住民の生活道である。

また、この道路は地元住民の運動コースであり、町内外の方が加茂山登山や成

山和紙の里公園などにハイキングコースとして多く利用している県道であるが、

ので、浄化槽の建設費確保の必要性から、更衣室の新設も含めた財源、維持管理費の試算、また、利用者の意向調査、併せて活用できる補助事業を探してみたい

急げ住宅耐震化

質問＝国の補助減額にどう対応

答弁＝県の動向も注視し適切に



山岡 勉 議員

耐震化に向けた機運を喚起するためにも、繰り返し質問している。

耐震化を推進するには経済的な負担軽減がポイントとなるが、平成31年度以降は国の補助額が大幅に減額されるといわれている。

耐震化が足踏みすることにならないか危惧する。どう対応されるか。

年度	耐震診断	耐震改修	家具固定
16	52	0	
17	16	0	
18	29	2	
19	26	0	
20	24	10	
21	23	3	
22	17	7	
23	38	11	
24	64	9	3
25	65	24	9
26	28	16	1
27	30	15	1
28	73	25	10
合計	485	122	24

住宅耐震化率

55.88%
(平成28年1月1日現在)

住宅耐震化の進捗 想定どおりか

全体として想定どおり進んでいるか。

池田町長

町は平成29年度から、耐震設計で10万円、改修で30万円補助を増額した。

これまでにできるだけ早期の耐震化が、できるような予算措置も考えていく。

全方位型の 取り組みを

山岡議員

補助減額に備え、今こそ集中的な取り組みをすべきだ。

池田町長

広報誌への掲載、公用車へのステッカーや平成28年からは、戸別訪問事業も実施している。

平成31年度からの補助減額に備え、耐震化重点取り組み中の周知など、より効率的な啓発や広報を行っていく。

件数は平成28年の1.2倍となつてあり、平成29年度は想定どおりと考えている。

また、耐震診断を省略して耐震設計、改修ができるよう要綱を改正した。

それにより、改修の受付件数は平成28年の1.2倍となつており、平成29年度は想定どおりと考えている。

固定資産税の前納報奨金 質問＝廃止すべきでないか 答弁＝検討課題と考えている

山岡議員

前納できる経済的体力のある方にとってはいいが、格差のは是認といえるものだ。

池田町長

早期の財源確保という点では効果があつていい。

歳出削減の観点からも、廃止すべきでないか。

存廃については、検討課題であると考えている。

主要地方道高知南環状線 質問＝自歩道新設できないか 答弁＝課題が多く困難(他の対策で)

山岡議員

当該地八天大橋付近から八田堰周辺間は、自転車・歩行者が極めて危険な状況に置かれている。

危険箇所解消の観点から、自歩道新設の取り組みができるないか。

家屋や吾南用水も近接しているなど、現道拡幅は課題が多く困難と聞いている。町としても県との協議を行いながら、車両に対する減速の路面標示や通行上の危険箇所を周知する看板設置など、対策について県とも協議し検討していく。

水田土木課長

自歩道新設には、現道拡幅が必要となる。当該道路は、仁淀川堤防との兼用工作物である上、

池田町長

早期の財源確保という点では効果があつていい。

一般質問と答弁

現状の「公共サービス」で十分か



が大きすぎる。

このような状況下では、町内の子どもが同じサービスを平等に受けられる環境になっていない。平成29年

ことになり、期末手当をはじめとする一定の手当を支給することも可能になった。
今後、平成32年4月からの改正法の施行に向け、給

害賠償請求を求めた訴訟で、最高裁は塩田氏への947万円の請求を命じた判決が確定された。

一
紙
の
門
松
を

どこの職場においても就職するには、福利厚生の充実が重視されるが、町内保

育所では臨時保育士が41%・調理員が60%となっている。臨時保育士ともなれば働き続けていきたいと思つても、出産・育児のたびに退職、就職を繰り返し、再就職もすぐにはない。

また、各保育所の保育士・調理員の正規職員・臨時職員の雇用状況を見るところ、各園であまりにも違ひ

臨時職員の雇用安定・ 待遇改善

育所では臨時保育士が41%・調理員が60%となつてゐる。臨時保育士ともなれば働き続けていきたいと思つても、出産・育児のたびに退職、就職を繰り返し、再就職もすぐにはない。

池田町長　自治体における臨時・非常勤職員の雇用や待遇改善については、人材確保の面からも取り組んでいかなければならぬ課題だと認識している。

されている、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、臨時保育士・調理員の雇用安定、処遇改善とともに、子どもが受けられる平等の環境づくりに取り組まなければならぬが、町長としての責務の思は。

森議員
「森友学園」・「加計学園」の疑惑問題で、森友学園が国や大阪府の補助金を不正受給したとされる事件で、国の補助金をだまし取った詐欺容疑で前理事長とその妻が逮捕された。国有地の払い下げについては、財務

勤務条件などについての詳細が決まる。「同一価値労働・同一賃金」の観点に対する一定の改善が図られるものと考えており、国の動向を注視するとともに、町としても検討を進めていきたい。

このように全国的に揺れに揺れている新設問題の中、旧勝賀瀬小学校での「日吉学園」計画は、その後の動きはどのようになっているのか。

山理科大の獣医学部を新設する計画を巡っては、「総理の意向」などと記載された記録文書が見つかり、学校法人審議会が獣医学部新設画の可否について、判断を保留したことで、大学設置基準に照らしても計画内容に疑義が生じる事態と

山崎教育次長 「紙の門松」は、これまでと違う形での配布、あるいは自由選択での活用方法を考えていきたい。例えば広報誌の紙面に印刷し、切り取って使う方法や、生涯學習講座での正月飾り教室など、希望される方に活用いただけるような機会を今後ただけるような機会を今後検討していきたい。

家庭の門先には新年を迎えるため、どこの家庭でも「門松」が飾られていたが、「紙の門松」に変わり、それも経費削減のことから廃止した。新春の顔として気持ち新たに新年を迎えるにあたり配布復活を考えてみてはどうか。

明確であつた臨時・非常勤職員についての、統一的な取り扱いが定められることとなつた。新たに会計年度任用職員制度が創設されることになり、期末手当をはじめとする一定の手当を支給することも可能になつた。

今後、平成32年4月からの改正法の施行に向け、給与水準などをはじめとする勤務条件などについての詳細が決まる。「同一価値労働・同一賃金」の観点に対する一定の改善が図られるものと考えており、国の動向を注視するとともに、町としても検討を進めていきたい。

省近畿財務局が、不當に安く売却したとして背任容疑で告発されている。町でも町有地を不當に安く売却したとして、元町長の伊藤氏らが前町長の塩田氏への損害賠償請求を求めめた訴訟で、最高裁は塩田氏への947万円の請求を命じた判決が確定された。

一方、愛媛県今治市に園山理科大の獣医学部を新設する計画を巡っては、「整理の意向」などと記載された記録文書が見つかり、学校法人審議会が獣医学部新設計画の可否について、判断を保留したことで、大学設置基準に照らしても計画内容に疑義が生じる事態となつた。

このように全国的に揺れに揺れている新設問題の中で、旧勝賀瀬小学校での「日吉学園」計画は、その後の動きはどのようになっているのか。

人「日吉学園」に土地建物を無償貸与として、平成29年3月30日に契約が締結され、現在は、平成31年4月開校に向けて準備を進めていると聞いている。

スケートボード専用公園の整備で、 オリンピック選手育成を



岡田

りょうへい
議員

人口減少・少子高齢化の進行する地方において、交流人口の増加や地域産業の活性化を図る手法として、スポーツを地域資源として、活用することに期待が寄せられている。思い出してほしい。32年前の伊野商業高校の甲子園出場、そして優勝のあの興奮を。この「スケートの力」に着目する。

そこで当町においては、スケートを通じた地域活性化策として、町主体での「スケートボード競技のオリンピック選手育成」をしてはどうか。

オリンピック出場とは、

無茶を言っているように聞こえるかもしれない。だが全国的に少ない、初心者から超上級者までが練習できる設備の整ったスケートパーク（スケートボード専用公園）ができれば、幼少期から十数年をかけた選手育成が可能となり、当町からでもオリンピックに出場することが実現可能となる。



スケートボード教室の様子

池田町長

東京への出張のときに

「いの町です」と言うと、「あの甲子園で優勝した伊野商業高校の町ですね」と言われ、スポーツの力は非常に大きいと実感している。

スケートボードは、2020年の東京からオリンピック正式種目となり、今後若者を中心につらに人気が高まつていくことに期待がされている。しかしスケートボーデ専用公園は、現在県内でも限られた場所にしか整備されていない。

もし、オリンピックに通用する選手がいの町から誕生すれば、大変素晴らしい夢がある。子どもたちが、本格的スケートパークがなく、競技をやめる子どもがないか。そこに元気いっぱいの子どもたちが集まる。

スケートボードの選手育成に関して、どのような方策があるのか競技団体を含め各方面から様々な意見を頂きながら、町のできるこ

ととしても夢の持てる施策と考へ提案する。

単に遊び場を作つてほしいのではない。施設整備には多額の費用がかかる。いの町のような小さな自治体が、競技人口から考えて簡単に遊び場として整備するようなものではない。そこで当町においては、スケートを通じた地域活性化策として、町主体での「スケートボード競技のオリンピック選手育成」をしては多い。

求められるのは、子ども

が興味のあるスポーツに出合いで、地域活性化まで望める、町民全体が夢の持てる、オリンピック選手育成のための、ワールドクラスのスケートパーク整備をしないか。そこに元気いっぱいの子どもたちが集まる。



一般質問と答弁

第7期介護保険事業計画に向けて

筋力トレーニング機器の設置

健診時の認知症簡易テスト



ていない。

山崎 議員

平成26年の「医療介護総合法」で、要支援者への訪問介護・通所介護を保険給付から外して地域支援事業に移行するようになった。

他の自治体では軽度者サービスの報酬単価を7割に切り下げるところもある。今後の町の姿勢は。

澁谷ほけん福祉課長

平成28年から総合事業に移行したが、要支援1・2認定者及び基本チエックリストのみの方も介護予防相続のサービスを利用されており、今後も単価の低いサービスにすることは考え

はどうか。

澁谷ほけん福祉課長

認知症の簡易テストは、特定健診の壮年期（40～64歳）の参加者を対象とする

ことが有効であると考えら

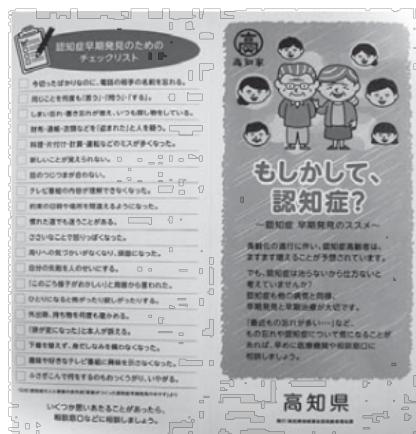
れるため、県作成の「もしとして認知症？」のリーフレットにあるチェックリストを活用し啓発していくた

い。介護予防の観点から筋力トレーニングが注目されている。安全管理のもと適切な負荷でトレーニングを行えば自立した高齢者から介護が必要な人まで効果がある。筋力トレーニングマシンの設置はできないか。

澁谷ほけん福祉課長

機器による高齢者の筋力トレーニングは、インストラクターなどが必要となる。また、使用方法を誤れば、ケガにつながる恐れもあり、介護予防事業としてはの実施は困難である。

放課後児童クラブの充実



認知症チェックリスト

認知症は早期発見が大切だ。早めに治療すれば、進行を緩やかにすることが可能である。特定健診時に認

知症簡易テストを導入して

いる。

能である。

特定健診時に認

知

早稲川・宇治川の浄化対策、町が対応し河川環境を守れ



浜田 孝男 議員

宇治川・早稲川の浄化対策は関係者の皆さんのが努力されてきた。しかし、わずかな浮遊物などで「白濁化」や「異臭」が起こっている。放置すればするほど水質の悪化は進む。町が対応し、河川環境を守れないか。



白濁化が進んでいる早稲川天王橋付近

勝賀瀬川の消防水利の確保を

浜田 議員

勝賀瀬弘瀬地区で火災が発生した。勝賀瀬川の消防水利のため、階段の拡幅とポンプ設置スペースの確保ができないか。

を完全にとらえることはできないかもしれないが、立木を流下させる力や木を倒す力は軽減できる。

水田土木課長

日常点検はもとより、事前に排水路の状況を確認し、大雨に備えている。

大雨時には巡回職員を配置し、速やかに対応できる体制を整えている。

中野川の適切な管理を

浜田 議員

管理者の県と協議し、許可を得られる範囲で、また、事業費によるが、来年度、緊急防災減災対策事業債による事業化を検討する。

①中野川の草木の繁茂は、町内でも例をみないほどだ。伐採ができないか。②また、管理道の町道部の舗装を行い、適切な管理に努めないか。

池田町長

①管理者の県には、治水上支障のある草木は早期に除去すると聞いている。

水田土木課長

②町道部の舗装実施に向け、平成29年度に県と境界確認を行い、平成30年度に

だ。管理はどのように行っているか。また、緊急時の対応策はできているか。

測量設計及び予算の確保を考えている。

奥田川の木や竹の伐採を

浜田 議員

奥田川に繁茂している木や竹は間違いない川の流れを悪くしている。大木にならいうちに伐採しないか。

池田町長

流速の阻害や法面保護の観点から伐採の必要があるので、管理者の県に取り除きを強く要望する。



木や草が繁茂している奥田川新田橋付近

水田土木課長

当時の設計基準に適合しなかった形式となつており、流木

北九州を襲った豪雨で、推計17万トンもの流木により被害が拡大された。大量の流木の流出による灾害に備え、透水型ではない既設の砂防ダムで問題はないか。

浜田議員

高知西バイパス工事で、是友地区へ流入する雨水の約70%をカットし、バイパス敷地を暗渠管で、新宇治川放水路呑口付近に運んでいる排水路の管理は重要

浜田議員

何とかこの状況を解消できなか、河川管理者の国交省・県と引き続き協議を行ながら、町ができることはないか、検討・協議を行う。

浜田議員

是友地区排水路の管理は重要な

池田町長

①管理者の県には、治水上支障のある草木は早期に除去すると聞いている。

水田土木課長

②町道部の舗装実施に向

移住・定住促進事業

空き家調査の進捗状況は 地域との連携は



藤崎 憲裕 議員

と良好な関わりを持つことが、必要不可欠だと考えるが、町ではどのように関わり、取り組んでいるのか。

川崎産業経済課長

空き家調査については、調査済みが295件、うち伊野地区254件、吾北地区39件、本川地区2件で、調査は、最初に調査地区の区長に連絡して、現地確認と空き家情報の聞き取りをしている。その後、町民課に所有者・納税義務者を照会し、空き家バンクの依頼文書を郵送するという手順で行っている。

現在、町を通じて移住した方からは、草刈りなど地区の活動に積極的に参加していることやご近所の方から野菜を分けてもらったり、歓迎会を開いてもらったりと良い関係を築けているという話を聞いているので、引き続き移住促進を進めたいと考えている。

町でも人口減少が進んでおり、歯止めをかける一つの施策として、移住促進を行っているところであるが、町は他の市町村より取り組みが遅かったと思う。平成29年度に予算計上されている空き家調査員による調査の進捗状況は、どのようにになっているのか。

また、大事なのは移住者の数ではなく、移住してきた方がどれだけ地域に溶け込み地域住民と協働していく住んでもらえるかかどうかだ。

土地になじみの薄い移住者が、いかに地域住民

となつており、現在、空き物件としてホームページへ掲載しているものは6件。議員の指摘のとおり、移住者が地域に定住していくためには、地域の方との関わりが大事になつている。

町では、区長に町内会費や清掃などの地区の行事や決まり事を教えてもらい、移住してくる方にも積極的に協力してもらえるようお願いしている。

現地調査

について、区長に協力してもらつており、8月末現在で48地区調査に入っている状況である。

平成28年9月5日から始めた、空き家バンク登録実績は21件、そのうち賃貸契約済み10件、売買済み5件



町内移住者交流会



空き家の荷物整理（地域住民の手作業）

いの町議会だより表紙などに掲載する写真を募集します

応募資格：いの町在住の方

注意事項：撮影場所はいの町内

白黒・カラーとも可

オリジナルの未発表のもの

締め切り：1月、4月、7月、10月の5日

応募方法：メールによる応募

gikai@town.ino.lg.jp

詳細はいの町議会ホームページをご覧ください



秋海棠（シュウカイドウ）



傍聴者の声

*70代の方から以下のようなご意見をいただきました。

- 質問される議員さんは、主張のポイントやその根拠となる図表などを資料として配布してはどうか。問題提起をされているようだけど説得力に欠ける。
- 答える執行部も、指摘内容を圧倒するようなレベルの高い答弁がほしい。総じて、忠実におたずねに答えるだけで、議論の深まりが物足りない。
- 町長の答弁はメリハリのある話しぶりで良かった。
- 朝から夕方まで、議員さんも執行部も大変なあと実感しました。もう少し質・量ともに工夫が必要と感じました。

「議会だよりいの」は、
資源保護のため再生紙
を使用しています。

議会を傍聴してみませんか

町民の皆さまの暮らしにかかわる施策などが決められる
大切な議会です。

12月定例会は、12月初旬にいの町役場本庁舎で開催の予定です。

発行
高知県いの町議会

TEL 088-893-1134

FAX 088-893-1125

発行人 議長 高橋幸十郎

編集 議会広報特別委員会

印刷 株式会社高知新聞総合印刷

皆さまのご意見をお寄せください

TEL 088-893-1134 FAX 088-893-1125

Eメール gikai@town.ino.lg.jp